

公益社団法人 読書推進運動協議会

平成27年度 年次報告書

1・趣意書	……………	P. 3
2・平成26年度 事業報告書	……………	P. 4 ～ P. 14
3・平成26年度 決算報告書	……………	P. 15 ～ P. 24
① 貸借対照表	……………	P. 15
② 正味財産増減計算書	……………	P. 16 ・ P. 17
③ 正味財産増減計算書内訳表	…	P. 18 ・ P. 19
④ 財務諸表に対する注記	……………	P. 20 ・ P. 21
⑤ 附属明細書	……………	P. 22
⑥ 財産目録	……………	P. 23
⑦ 監査報告書	……………	P. 24
4・平成26年度 予算決算対比	……………	P. 25
5・平成27年度 事業計画書	……………	P. 26 ～ P. 30
6・平成27年度 収支予算書	……………	P. 31
7・会員名簿	……………	P. 32 ・ P. 33

公益社団法人 読書推進運動協議会 趣意書

読書推進運動協議会は、読書活動の推進と、出版物の普及により、わが国文化の発展と向上に資することを目的として、1947年（昭和22年）秋を第1回とする「読書週間」の主催団体であった読書週間実行委員会を発展的に解消して、出版界および読書界の代表的7団体により、1959年（昭和34年）11月10日任意団体として結成、発足しました。

以来、国民的行事として定着してきた、秋の「読書週間」、春の「こどもの読書週間」の2大行事を主催すると同時に、「若い人に贈る読書のすすめ」「敬老の日読書のすすめ」「雑誌愛読月間（後援）」「野間読書推進賞」など、年間を通じて国民一般に読書と愛書の意欲を昂揚し、あわせて出版についての理解と関心を深めるために、各種の事業ならびに運動を計画し、その中核となって活発なる活動をつづけ、今日に至っています。

現在の読書推進運動協議会は、組織としては出版界ならびに読書界の代表的団体、すなわち、一般社団法人日本書籍出版協会、一般社団法人日本雑誌協会、一般社団法人教科書協会、一般社団法人日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会、公益社団法人日本図書館協会、公益社団法人全国学校図書館協議会の7つの団体のほか、出版および読書に関連する諸団体ならびに会員社によって構成され、強力なる支援のもとに発展をつづけています。さらに、連携組織としての各地域の読書推進運動協議会も、40の道府県に設立され、活動をしています。

このように組織体としての基盤も確立し、1969年（昭和44年）秋には文部省（現在の文部科学省）より社団法人の認可を、2013年（平成25年）4月には内閣府より公益社団法人の認定をうけました。責任ある公共団体としての覚悟を新たにして、本来の目的達成のために、いっそう強力なる活動の展開を期してまいります。

〒162-0828 東京都新宿区袋町6番地 日本出版クラブ会館内
公益社団法人 読書推進運動協議会
電話 (03) 3260-3071 FAX (03) 5229-1560

平成26年度 事業報告書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

事業 総括

読書推進運動協議会は、永年にわたる活動の公益性が高く評価され、2013年(平成25年)4月1日に公益社団法人へと移行しました。また、「〈大震災〉出版対策本部」の事務局に加わり、「大震災出版復興基金」の管理運営を行っています。

このほか、例年同様、①第56回こどもの読書週間 ②2014敬老の日読書のすすめ ③第68回読書週間 ④2015若い人に贈る読書のすすめ ⑤第44回野間読書推進賞 ⑥機関紙『読書推進運動』の毎月発行(別冊・年2回) ⑦「子どもの読書推進会議」の事務局担当 ⑧伊藤忠記念財団の「子ども文庫助成事業」の募集および第一次審査業務の受託 ⑨行政機関を含めた各種団体の読書推進活動に関する支援と後援 を行いました。

2014・第56回こどもの読書週間



期 間	4月23日から5月12日まで(20日間)
主 催	公益社団法人 読書推進運動協議会
後 援	文部科学省、日本新聞協会、NHK、日本民間放送連盟、 日本PTA全国協議会、全国市町村教育委員会連合会
標 語	いつもいっしょ、本といっしょ。 (日本出版販売株式会社・小野島健太さん)
ポスター	絵：荒井良二さん デザイン：杉浦康平さん

○都道府県読書推進運動協議会、公共図書館、上記後援団体のほか、出版、新聞、放送の主要機関に「こどもの読書週間」開催の趣旨書とマークと協力依頼書を送付、協力を要請

○標語の決定と、ポスターの製作・配布。B3判4色刷りポスター7万1500枚を製作し、都道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高校、書店、出版社、新聞社、放送局、文化団体などに配布、掲出を要請

○都道府県読書推進運動協議会に、「こどもの読書週間」行事補助金、各2万円を贈呈

- ポスター配布先**
- 都道府県読書推進運動協議会・公共図書館 8700枚
 - 全国小・中・高校 4万1000枚
 - 取次各社 1万5000枚
 - 特定の機関 2700枚
 - 読書推進運動協議会事務局(会員社を含む) 4100枚

都道府県の各読書推進運動協議会が実施した行事

公益社団法人読書推進運動協議会の呼びかけによって、全国各地で多彩な行事が実施された。その行事報告は機関紙『読書推進運動』平成26年10月刊・第563号別冊付録に収録

●都道府県別各読書推進運動協議会報告の行事主催者数 (読書推進運動協議会編)

北海道	141	青森県	28	岩手県	50	宮城県	37	秋田県	45
山形県	28	福島県	8	茨城県	39	栃木県	40	群馬県	22
埼玉県	69	千葉県	67	新潟県	48	富山県	36	石川県	27
福井県	25	山梨県	49	長野県	39	岐阜県	44	静岡県	83
滋賀県	44	京都府	29	兵庫県	80	和歌山県	21	鳥取県	25
島根県	31	岡山県	62	広島県	65	徳島県	18	香川県	22
愛媛県	31	高知県	24	福岡県	89	佐賀県	29	長崎県	18
熊本県	33	大分県	24	宮崎県	32	鹿児島県	82	沖縄県	30
							合 計	1714	

2014・第68回読書週間



期 間 10月27日から11月9日まで
 (文化の日を中心とした14日間)
 主 催 公益社団法人 読書推進運動協議会
 後 援 文部科学省
 標 語 めぐる めぐる 本の世界
 (日本出版販売株式会社・井崎真代さん)
 (学校図書館司書・菅谷麻美子さん)
 ポスター イラスト=ゆえ まつこさん デザイン=新島龍彦さん

- 都道府県読書推進運動協議会、公共図書館をはじめ、出版、新聞、放送の主要機関に「読書週間」開催の趣旨書、マークならびに協力依頼書を送付、協力を依頼
- 標語の決定と、ポスターの製作・配布。B3判4色刷りポスター7万6000枚を製作し、都道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高校、書店、出版社、新聞社、放送局、文化団体などに配布、掲出を依頼
- 日本雑誌協会の協力を得て、同協会の会員社に対し、発行の雑誌への「読書週間」告知広告掲載を依頼。積極的な取り組みを要請。16社95誌に掲載
- 都道府県読書推進運動協議会から各1件の推薦により、「全国優良読書グループ表彰」を行い、38団体に賞状・副賞(2万円の図書カード)を贈呈
- 都道府県読書推進運動協議会に「読書週間」行事補助金、各3万円を贈呈

- ポスター配布先
- 都道府県読書推進運動協議会、公共図書館 1万1100枚
 - 全国小・中・高校 4万1000枚
 - 取次各社 1万7000枚
 - 特定の機関 2900枚
 - 読書推進運動協議会事務局(会員社を含む) 4000枚

●第46回全国優良読書グループ表彰団体

読み聞かせの会「おはなしつくしんぼ」	北海道日高郡新ひだか町	村上 こそ枝
読み聞かせ・ふかうら・だんぶり	青森県西津軽郡深浦町	山本 幸子
特定非営利活動法人 うれし野こども図書室	岩手県盛岡市	高橋 美知子
拡大写本の会・宮城野	宮城県仙台市	永澤 裕子
童話の会“紙ふうせん”	秋田県潟上市	夏井 いづみ
おはなしらんどポップコーン	山形県東田川郡庄内町	村上 純子
ひこうせん	茨城県小美玉市	小玉 知子
栃の実読書会	栃木県宇都宮市	徳江 紀子
やまとの会	群馬県前橋市	八重樫 瑛子
ひふみの会	埼玉県児玉郡上里町	木村 光子
船橋市西図書館読書会	千葉県船橋市	佐藤 鎌二
絵本を楽しむ会	新潟県柏崎市	伊藤 芳子
白蘭読書会	富山県富山市	矢後 織枝
はるかぜ文庫	石川県金沢市	中橋 範子
若越文学の会	福井県福井市	久谷 徳子
たけの子会	山梨県南巨摩郡南部町	末高 恭子
紙ふうせん	長野県茅野市	百瀬 るみ
おはなしボランティア いちごばたけ	岐阜県郡上市	田代 陽子
すいせんの里読書会	静岡県浜松市	笠原 佐知子
読書サークル「いぶき」	滋賀県長浜市	川村 昌枝
青谷小学校読書ボランティア「えほんとおはなしの会」	京都府城陽市	塚脇 節子
ささやま図書館友の会	兵庫県篠山市	福山 和子
ゆら おはなしの会	和歌山県日高郡由良町	高垣 由美子
島根県立図書館成人読書会Eグループ	島根県松江市	中村 久美子
はやしま本だいすきの会	岡山県都窪郡早島町	野村 史子
おはなし会サークル にじいろのたね	広島県大竹市	藤井 真由美
読み聞かせグループ たけのこの会	徳島県板野郡上板町	渡辺 貞代
朗読グループ どんぐり	香川県さぬき市	池田 洋子
下土居読書会	愛媛県四国中央市	加藤 明子
きてきて、きいて	高知県宿毛市	清家 マリ子
ぶっくらぶ大木	福岡県三潁郡大木町	徳永 清美
蓮池・芙蓉読書グループ	佐賀県佐賀市	鵜池 順子
長崎・図書館との会	長崎県長崎市	木下 佳代
おはなしポケット	熊本県合志市	岩崎 まるみ
おはなしどーなっつ	大分県国東市	鈴木 由紀江
おはなしころりん	宮崎県児湯郡高鍋町	廣瀬 真理
おはなし文庫 がらがらどん	鹿児島県鹿児島市	河野 麻紀
ひだまりの会	沖縄県豊見城市	嘉数 善子

都道府県の各読書推進運動協議会が実施した行事

公益社団法人読書推進運動協議会の呼びかけによって、全国各地で多彩な行事が実施された。その行事報告は機関紙『読書推進運動』平成27年4月刊・第569号別冊付録に収録。

●都道府県別各読書推進運動協議会報告の行事主催者数（読書推進運動協議会編）

北海道	142	青森県	28	岩手県	50	宮城県	33	秋田県	31	
山形県	25	福島県	25	茨城県	37	栃木県	39	群馬県	28	
埼玉県	42	千葉県	64	新潟県	51	富山県	34	石川県	28	
福井県	24	山梨県	41	長野県	35	岐阜県	48	静岡県	79	
滋賀県	42	京都府	36	兵庫県	66	和歌山県	20	鳥取県	31	
島根県	40	岡山県	55	広島県	65	徳島県	16	香川県	21	
愛媛県	31	高知県	28	福岡県	97	佐賀県	28	長崎県	32	
熊本県	33	大分県	22	宮崎県	29	鹿児島県	81	沖縄県	23	
									合計	1681

第44回野間読書推進賞

●受賞者

《団体の部》 ○特定非営利活動法人 函館視覚障害者図書館（北海道）

○特定非営利活動法人 岩手音声訳の会（岩手県）

○おはなしブリュッケン（島根県）

《団体の部》 ○成田和子さん（宮城県）

○寺澤敬子さん（群馬県）

《奨励賞》 ○陽阜郵便局（長野県）

○鈴木富夫さん（千葉県）

●賞 賞状および賞牌

●副賞 金30万円（団体の部）、金20万円（個人の部）、金5万円（奨励賞）

決定までの経過と贈呈式

○平成26年5月15日 都道府県教育委員会委員長および教育長、都道府県中央図書館および読書推進運動協議会のほか、全国市町村教育委員会連合会、日本PTA全国協議会、日本新聞協会、NHK、日本民間放送連盟などに候補者推薦を依頼

○7月31日 候補者推薦締切（推薦数30団体、10個人）

○8月25日 選考準備委員会を開催。審査基準により予備審査の結果、13団体、6個人を選出。これについてさらに実情調査などの結果をまとめ、選考委員会に提出

○9月2日 選考委員会を開催。慎重な審査の結果、3団体、2個人の野間読書推進賞と、1団体、1個人の奨励賞受賞を決定

○11月7日 東京・新宿区の日本出版クラブ会館において贈呈式および記念祝賀会を開催

- 選考委員 笠原 良郎 公益社団法人 全国学校図書館協議会 顧問
- 小峰 紀雄 株式会社 小峰書店 代表取締役社長
- 酒川 玲子 公益社団法人 日本図書館協会 参与

野間読書推進賞について

この賞は、地域や職域などにおいて、永年にわたって読書の普及に力を尽くし、読書推進運動に貢献された団体または個人を顕彰するためのもので、昭和44年に、講談社社長・故野間省一氏より当協議会の社団法人設立を機に基本財産として金1000万円、昭和54年に講談社より創業70周年を記念して金1000万円、さらに昭和62年に創業80周年を記念して金2000万円の寄付を受け、その基金を中心に運営しているものです。なお、昭和60年(第15回)より「読書推進賞」から「野間読書推進賞」と名称が改められました。

2014敬老の日読書のすすめ

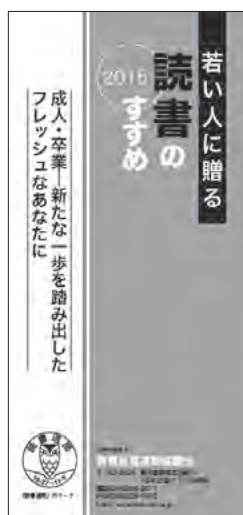


期 間 敬老の日を中心に
主 催 公益社団法人 読書推進運動協議会

- 「敬老の日(中・高年層)にすすめる本」の推薦図書24点を掲載したリーフレットを製作し、都道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、書店などに送付。読者に配布
- 推薦図書は、都道府県の読書推進運動協議会から3点ずつ推薦していただき、その推薦図書をもとに、事業委員会で決定
- 今回は、38の読書推進運動協議会から83点の図書の推薦
- リーフレット(A4判3折・2色×2色) 製作部数16万2000部

- リーフレット配布先
- 都道府県読書推進運動協議会・公共図書館 7万2100部
 - 取次会社 8万部
 - 特定の機関 4400部
 - 読書推進運動協議会(会員社を含む) 5500部

2015若い人に贈る読書のすすめ



期 間 平成27年1月から3月
主 催 公益社団法人 読書推進運動協議会

- 「成人・卒業—新たな一歩を踏み出したフレッシュなあなたにすすめる本」の推薦図書24点掲載のリーフレットを、都道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、書店などに送付。読者に配布
- 推薦図書は、都道府県の読書推進運動協議会から3点ずつ推薦していただき、その推薦図書をもとに、事業委員会で決定
- 今回は、40の都道府県読書推進運動協議会から75点の図書の推薦
- リーフレット(A4判3折・2色×1色) 製作部数26万1000部

- リーフレット配布先
- 都道府県読書推進運動協議会・公共図書館 8万6000部
 - 取次会社 12万部
 - 全国学校図書館協議会 3000部
 - 特定の機関 1万5000部
 - 読書推進運動協議会事務局(会員社含む) 3万7000部

機関紙の発行

- 機関紙『読書推進運動』(B5判)を月1回、年12回発行(第557号～第568号)
- 基本編成は8ページ(第565号は16ページ)
- 別冊付録を年2回(第557号・52ページ、第563号・48ページ)発行し、「読書週間」「こどもの読書週間」の全国からの行事報告を掲載

以下、各号の執筆者(①巻頭、②本文)と内容を紹介

- 第557号 = ①堀米 薫さん おすすめは家族で読書(「こどもの読書週間」によせて)
②設楽敬一さん 調査、表彰、研修など各種事業で、学校図書館の活性化を目指す(読書推進運動協議会 構成7団体の活動紹介)
- ☆〈別冊付録〉「2013・第67回 読書週間行事報告」
- 第558号 = ①上橋菜穂子さん 幸せの配達人(「国際アンデルセン賞」受賞記念)
②松尾 靖さん 子どもたち、そして未来の子どもたちへ、読書の楽しさを伝える「読み聞かせの会」(読書推進運動協議会 構成7団体の活動紹介)
- 第559号 = 公益社団法人 読書推進運動協議会・平成26年度定時総会報告

- 第560号 = ①柏木博さん 斬新で実験的作品が見られた 第48回造本装幀コンクールを振り返って
- 第561号 = ①山崎博樹さん 高齢化社会をサポートする図書館サービス(「敬老の日読書のすすめ」によせて)
- 第562号 = ①佐々涼子さん 紙に思いを馳せて読書を(「読書週間」によせて)
②山本宏義さん 第100回全国図書館大会へのご招待(読書推進運動協議会 構成7団体の活動紹介)
- 第563号 = ①堀内丸恵さん 図書室の思い出(「読書週間」によせて)
②松井紀美子さん 世界が日本の「上橋菜穂子」を見つけた瞬間(第34回IBBY世界大会メキシコ開催)
- ☆〈別冊付録〉「2014・第56回 こどもの読書週間行事報告」
- 第564号 = ①東條律子さん 古典から現代まで、じっくり読んでほしい(「若い人に贈る読書のすすめ」によせて)
②藤田康雄さん 活字は原発事故のリアルな世界をどう伝えることができるのか。福島第1原発「重要免震棟」の現場から(〈大震災〉出版対策本部バススタディツアー)
- 第565号 = 第44回野間読書推進賞特集
②丸島基和さん 「野間読書推進賞」贈呈式に出席して
- 第566号 = ①小峰紀雄さん 年頭所感 読書推進運動の明日に向かって
- 第567号 = ①山根基世さん ことばを育てる 地域をつなぐ
②鎌倉幸子さん 人と地域そして情報をつなぐ「移動図書館プロジェクト」の輪(シャンティ国際ボランティア会 東日本大震災被災地支援)
- 第568号 = ①池水秀徳さん 絵本ワールドの使命とはなにか(「こどもの読書週間」によせて)

子どもの読書推進会議

(事務局)

代表・小峰紀雄。読書推進運動協議会、日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本児童図書出版協会、日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団(JPIC)、日本図書館協会、全国学校図書館協議会、国際子ども図書館を考える全国連絡会、日本国際児童図書評議会(JBBY)、日本児童文学者協会、日本児童文芸家協会、日本児童出版美術家連盟の14団体で運営幹事会を構成。事務局を読書推進運動協議会におく。主な事業は以下のとおり。

〈共催〉

- 「上野の森 親子フェスタ」(出版文化産業振興財団と共催)

5月3日～5日 東京・上野公園

〈後援〉

- 「親と子の絵本ワールド・イン・いしかわ2014」
7月19日～21日 北國新聞赤羽ホールほか
- 「第15回記念 絵本ギャラリー in 奈良」 8月2日・3日 奈良市ならまちセンター
- 「絵本ワールド in ふくしま2014」 8月16日・17日 ビッグパレットふくしま
- 「絵本ワールド in しずおか2014」 10月11日・12日 ツインメッセ静岡
- 「絵本ワールド in とっとり2014」 12月6日・7日 鳥取短期大学

受託事業、共催、後援および協賛事業

〈受託事業〉

本年度も、公益財団法人伊藤忠記念財団の実施する平成26年度「子ども文庫助成事業」の募集および第一次審査業務を受託しました。全国の関係機関に募集要項の配布を依頼、寄せられた申請書類を調査・整理のうえ、参考意見を付して財団へ提出。応募総数は184件、伊藤忠記念財団は最終審査の結果、55団体に助成金、22団体に100冊の本が贈呈されました。

〈共催団体、実行委員会への参加〉

- 「東京国際ブックフェア2014」……実行委員会に参加
読書推進運動協議会、日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会、出版文化国際交流会など8団体が主催
- 「第48回造本装幀コンクール」 主催：日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会
7月5日、東京国際ブックフェア会場内で表彰式実施。
審査委員として参加。読書推進運動協議会賞を提供
- 「学校図書館整備推進会議」……運営委員会に参加
代表・森田盛行、議長・小峰紀雄。読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本児童図書出版協会、市民団体など31団体
- 「国際子ども図書館を考える全国連絡会」……運営委員会に参加
会長・笠原良郎。読書推進運動協議会、日本児童図書出版協会、日本図書館協会、全国学校図書館協議会など84団体
- 「子どもと本をつなぐネットワークフォーラム」……実行委員会に参加
文部科学省が主催。読書推進運動協議会、日本国際児童図書評議会、出版文化産業振興財団などが参加
- 「新宿区子ども読書活動推進会議」……子ども読書活動推進会議委員として参加
新宿区が主催
- 「第18回図書館を使った調べる学習コンクール」……審査委員として参加

〈後援〉

- 「第24回全国読書作文コンクール」 主催：公益社団法人全国学習塾協会 4月1日～10月31日
- 「第18回図書館を使った調べる学習コンクール」 主催：公益財団法人図書館振興財団 4月～3月
- 「第2回家読講演会・宮西達也氏 絵本ライブ」 主催：羽後町立図書館 5月20日
- 「第12回家の光読書ボランティア養成講座」&「第9回家の光読書ボランティアスキルアップ講座」 主催：一般社団法人家の光協会 6月～9月 秋田市、和歌山市、宮崎市、岡山市
- 「第14回家の光読書エッセイ」 主催：一般社団法人家の光協会 7月1日～11月10日
- 「JPIC読書アドバイザー養成講座」 主催：一般財団法人出版文化産業振興財団 7月4日～2015年2月2日
- 「第3回東京・学校図書館スタンプラリー」 主催：東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会 7月15日～8月29日
- 「親と子の絵本ワールド・イン・いしかわ2014」 主催：親と子の絵本ワールド・イン・いしかわ実行委員会、北國新聞社 7月19日～21日 石川県金沢市、小松市、白山市、七尾市
- 「読書と体験の子どもキャンプ」 主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益財団法人文字・活字文化推進機構 7月24日～27日 東京都渋谷区・国立オリンピック記念青少年総合センター
- 「2014こどもの本ブックフェア」 主催：株式会社トーハン 7月25日～8月4日 岡山市、京都市、福岡市、札幌市
- 「2014日本子どもの本研究会 全国大会 第31回研究集会」および「第46回全国子どもの本と児童文化講座滋賀大会」 主催：日本子どもの本研究会 8月1日・2日、8月19日・20日
- 「2014年 本と遊ぶほうこどもワールド 親と子の読み聞かせ 日販 児童図書展示会」 主催：日本出版販売株式会社 8月8日～10日 北海道旭川市、8月2日～4日 名古屋市、8月2日～4日 大阪市
- 「とやま元気ワールド 絵本ランド2014」 主催：とやま元気ワールド実行委員会 9月13日・14日 富山市、高岡市、射水市
- 「絵本ワールドinしずおか」 主催：株式会社静岡新聞社 10月11日・12日 ツインメッセ静岡
- 「第4回ブックフェスティバル」 主催：羽後町立図書館 10月13日
- 「ブックインとっとり2014展示会」&「第27回地方出版文化功労賞受賞記念講演会」 主催：ブックインとっとり実行委員会 10月31日～11月6日 倉吉市立図書館
- 「第100回全国図書館大会」 主催：公益社団法人日本図書館協会 10月31日～11月1日 明治大学駿河台キャンパス
- 「いばらき読書フェスティバル2014」 主催：茨城県教育委員会、茨城県読書推進運動協議会、茨城県図書館協会ほか 11月2日 茨城県立図書館
- 「小林顕作さんの絵本ワンダーランド」 主催：宇佐市宇佐文化会館・ウサノピア 11月24日 宇佐市宇佐文化会館・ウサノピア小ホール

- 「全国大学ビブリオバトル2014京都決戦」 主催：活字文化推進会議 12月14日 京都大学百年時計台記念館
- 「日本・ロシア活字文化比較講話」 主催：アストライアの会 12月 東京都豊島区勤労福祉会館
- 「2015年度アジアの図書館サポーター」 主催：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 2015年1月1日～12月31日 日本全国
- 「絵本を届ける運動」 主催：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 2015年1月1日～12月31日 日本全国
- 「第7回小さな朗読コンサート」 主催：羽後町立図書館 2月28日 西馬音内盆踊り会館
- 「子どもの本の日フェスティバル2015」 主催：一般社団法人日本国際児童図書評議会 3月21日・22日 東京都品川区・ゲートシティホール
- 「平成26年度 ぎふけん・おすすめの1冊コンクール表彰式・講演会」 主催：岐阜県読書推進運動協議会、岐阜県図書館、中日新聞社 1月11日 岐阜県図書館

〈協力〉

- 「人気の著者による 私が賞を贈りたい2冊」 株式会社トーハン広報室『新刊ニュース』
- 「キャンペーン『本の力を、生きる力に。』」 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

大震災出版復興基金

一般社団法人日本書籍出版協会、一般社団法人日本雑誌協会、一般財団法人日本出版クラブの出版3団体とともに、「〈大震災〉出版対策本部」の事務局を構成し、「大震災出版復興基金」の管理運営を行っています。出版事業を通して、読書の推進を図り、東日本大震災で特に大きな被害をうけた地域の「読書環境の復活」「図書販売環境の復活」「人々の心の復活」につながる活動を実施しました。

○大震災で親を亡くされた遺児たちへのクリスマス図書カードプレゼント

岩手、宮城、福島3県の未就学児から高校生までの全員を対象に、各県の教育委員会、各市町村の児童家庭課と「あしなが育英会」の協力を得て、1102名の子どもたちへ贈呈しました。2014年12月の実施では、中学生以上1名5000円、小学生以下1名3000円を贈りました。

○東京国際ブックフェアで震災シンポジウム「3・11を忘れない 雑誌から飛び出したヒーローたち」開催

7月5日、東京ビッグサイト会議棟で、漫画家・細野不二彦さんの呼びかけで始まった企画「ヒーローズ・カムバック」の成立秘話を中心に、賛同していただいた漫画家さんたちの熱い思いが伝わるセミナーを実施しました。

第1部 細野不二彦さんの講演「雑誌から飛び出したヒーローたち」

第2部 パネルディスカッション「まんがはそもそも子どもたちのもの、子どもたちに本を届けたい」

- 「ガンバレ岩手！ 私のおすすめ本 メッセージカード コンテスト」と「ガンバレ宮城！ 私のおすすめ本 メッセージカード コンテスト」を開催

新たに実施した事業です。子どもたちに、感動した本、勇気をもたらした本を選んでもらい、みんなに読んでもらいたいという願いを、一枚のカードにイラストやコピーで描いてもらいました。岩手県では岩手日報社、宮城県では河北新報社に協力をいただき、教育委員会、書店商業組合連合会の賛同を得て、県下のすべての小学校、中学校、高等学校に通知し、新聞紙上でも一般公募を行いました。

岩手県のコンテストへの参加学校数は80校を超え、応募総数は1159点、宮城県のコンテストへの参加学校数は100校、応募総数は1825点でした。

小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学校の部、高等学校の部の4部門で「最優秀賞」1点、「優秀賞」4点、「入選」5点を選考し、それぞれの部門で最優秀賞を出した学校に「学校賞」を贈りました。

岩手県では7月6日、宮城県では10月25日に表彰式を行い、岩手県では7月半ばより、宮城県では10月下旬より、最優秀作品のおすすめ本POPが、該当書籍とともに、書店店頭を飾りました。

- 青春のエッセイ「阿部次郎記念賞」を協賛

東北大学で教鞭をとった思想家でエッセイストの阿部次郎の功績を記念し、全国の高校生を対象に、読書と活字文化の活性化を目指したエッセイの賞を設けています。青春のバイブルといわれ、若い世代に読み継がれている阿部次郎の代表作『三太郎の日記』にちなんで、2007年の東北大学創立100年を機に始まりました。被災地の教育機関の文化事業を支援する意味から、8回目となるこの賞に、賞品として図書カードを贈ることにしました。表彰式は11月3日に、東北大学文学部にて行われました。

- 改めて被災地を知るバススタディツアー

9月13日、出版関係者30名で福島第一原発視察の、日帰りツアーを行ないました。廃炉カンパニー・プレジデントの増田尚宏氏の案内で、第一原発の現状と廃炉への道筋の説明を聞き、関連施設を見て回りました。さらに廃炉関連企業の前線基地、であるJヴィレッジを訪ね、各出版社より提供いただいた文芸作品を中心とした文庫本300冊を寄贈しました。

- 陸前高田市での仮設児童図書館「にじのライブラリー」の運営協力

運営母体の「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト」を構成している一般財団法人出版文化産業振興財団(JPIC)、一般財団法人日本出版クラブ、一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)と連携しながら、仮設児童図書館「にじのライブラリー」の運営に協力しました。

- 「学校図書館げんきプロジェクト」への協力

公益社団法人全国学校図書館協議会(SLA)と読売新聞社が中心となって活動している「学校図書館げんきプロジェクト」の活動に、協力しました。

平成26年度 決算報告書

自 平成26年 4 月 1 日 至 平成27年 3 月31日

貸借対照表

平成27年 3 月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,639,051	11,481,886	7,157,165
未収金	38,000	643,000	△ 605,000
流動資産合計	18,677,051	12,124,886	6,552,165
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	0	15,000,000	△ 15,000,000
基本財産合計	0	15,000,000	△ 15,000,000
(2) 特定資産			
野間読書推進賞基金	41,600,000	41,600,000	0
こどもの読書週間60回積立金	2,000,000	1,500,000	500,000
読書週間70回記念積立金	4,000,000	2,500,000	1,500,000
創立60周年記念積立金	4,500,000	4,500,000	0
大震災出版復興基金	61,178,006	44,335,424	16,842,582
特定資産合計	113,278,006	94,435,424	18,842,582
(3) その他固定資産			
差入敷金	356,800	356,800	0
その他固定資産合計	356,800	356,800	0
固定資産合計	113,634,806	109,792,224	3,842,582
資 産 合 計	132,311,857	121,917,110	10,394,747
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	58,345	57,988	357
賞与引当金	624,047	624,047	0
流動負債合計	682,392	682,035	357
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,537,140	5,706,288	830,852
固定負債合計	6,537,140	5,706,288	830,852
負 債 合 計	7,219,532	6,388,323	831,209
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	61,178,006	44,335,424	16,842,582
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(61,178,006)	(44,335,424)	(16,842,582)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	63,914,319	71,193,363	△ 7,279,044
(うち基本財産への充当額)	(0)	(15,000,000)	(△ 15,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(52,100,000)	(50,100,000)	(2,000,000)
正味財産合計	125,092,325	115,528,787	9,563,538
負債及び正味財産合計	132,311,857	121,917,110	10,394,747

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,966	2,960	4,006
基本財産受取利息	6,966	2,960	4,006
特定資産運用益	17,568	21,581	△ 4,013
特定資産受取利息	17,568	21,581	△ 4,013
会費収入	29,997,000	30,430,500	△ 433,500
正会員会費収入	4,712,000	4,887,500	△ 175,500
特別会員会費収入	25,285,000	25,543,000	△ 258,000
受託事業収入	1,325,968	1,447,495	△ 121,527
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	700,000	0
伊藤忠記念財団受託事業収入	625,968	747,495	△ 121,527
受取助成金	5,000,000	5,000,000	0
受取助成金振替額	5,000,000	5,000,000	0
受取寄附金	13,002,169	2,088,213	10,913,956
受取寄附金	1,000,000	1,000,000	0
受取寄附金振替額	12,002,169	1,088,213	10,913,956
雑収益	1,341,310	2,355,885	△ 1,014,575
受取利息	5,970	2,254	3,716
雑収益	1,335,340	2,353,631	△ 1,018,291
経常収益計	50,690,981	41,346,634	9,344,347
(2) 経常費用			
事業費	53,700,266	42,443,935	11,256,331
給料手当	8,516,296	8,440,544	75,752
法定福利費	1,590,445	1,716,196	△ 125,751
賞与	1,060,881	950,503	110,378
賞与引当金繰入	530,440	530,440	0
退職給付費用	706,224	1,028,532	△ 322,308
福利厚生費	47,236	16,770	30,466
事務所費	3,406,660	4,089,263	△ 682,603
印刷費	9,043,394	6,997,570	2,045,824
通信運搬費	2,943,775	3,156,981	△ 213,206
旅費交通費	696,761	762,919	△ 66,158
会議費	322,141	247,780	74,361
広告宣伝費	7,472,652	335,000	7,137,652
褒章費	3,269,433	3,093,304	176,129
支払補助金	6,017,080	2,001,260	4,015,820
贈呈図書費	6,347,670	5,710,000	637,670
支払原稿料	276,951	1,521,230	△ 1,244,279
諸謝金	210,000	162,500	47,500
支払手数料	36,521	45,108	△ 8,587
消耗品費	293,205	345,945	△ 52,740
リース料	297,360	297,360	0
サーバー使用料	305,341	298,334	7,007
新聞購読料	171,324	123,190	48,134
書籍購入費	13,972	3,150	10,822
講演・研修会参加費	39,000	57,620	△ 18,620
雑費	85,504	512,436	△ 426,932

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	4,269,759	4,903,616	△ 633,857
給料手当	1,502,876	1,489,508	13,368
法定福利費	280,667	302,858	△ 22,191
賞与	187,214	167,736	19,478
賞与引当金繰入	93,607	93,607	0
退職給付費用	124,628	181,506	△ 56,878
福利厚生費	8,336	2,960	5,376
事務所費	1,834,355	2,014,114	△ 179,759
支払手数料	20,088	2,867	17,222
会議費	217,988	242,984	△ 24,996
租税公課	0	74,102	△ 74,102
雑費	0	331,374	△ 331,374
経常費用計	57,970,025	47,347,551	10,622,475
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,279,044	△ 6,000,917	△ 1,278,128
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,279,044	△ 6,000,917	△ 1,278,128
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,279,044	△ 6,000,917	△ 1,278,128
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,279,044	△ 6,000,917	△ 1,278,128
一般正味財産期首残高	71,193,363	77,194,279	△ 6,000,916
一般正味財産期末残高	63,914,319	71,193,363	△ 7,279,044
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金	5,000,000	5,000,000	0
受取寄附金	28,844,751	45,423,637	△ 16,578,886
一般正味財産への振替額	△ 17,002,169	△ 6,088,213	△ 10,913,956
当期指定正味財産増減額	16,842,582	44,335,424	△ 27,492,842
指定正味財産期首残高	44,335,424	0	44,335,424
指定正味財産期末残高	61,178,006	44,335,424	16,842,582
III 正味財産期末残高	125,092,325	115,528,787	9,563,539

正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1事業	公2事業	共通	小 計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	5,572	0	0	5,572	1,394		6,966
基本財産受取利息	5,572	0	0	5,572	1,394		6,966
特定資産運用益	9,316	5,923	0	15,239	2,329		17,568
特定資産受取利息	9,316	5,923	0	15,239	2,329		17,568
会費収入	25,497,450	0	0	25,497,450	4,499,550		29,997,000
正会員会費収入	4,005,200	0	0	4,005,200	706,800		4,712,000
特別会員会費収入	21,492,250	0	0	21,492,250	3,792,750		25,285,000
受託事業収入	1,325,968	0	0	1,325,968	0		1,325,968
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	0	0	700,000	0		700,000
伊藤忠記念財団受託事業収入	625,968	0	0	625,968	0		625,968
受取助成金	0	5,000,000	0	5,000,000	0		5,000,000
受取助成金振替額	0	5,000,000	0	5,000,000	0		5,000,000
受取寄附金	1,000,000	12,002,169	0	13,002,169	0		13,002,169
受取寄附金	1,000,000	0	0	1,000,000	0		1,000,000
受取寄附金振替額	0	12,002,169	0	12,002,169	0		12,002,169
雑収益	1,341,310	0	0	1,341,310	0		1,341,310
受取利息	5,970	0	0	5,970	0		5,970
雑収益	1,335,340	0	0	1,335,340	0		1,335,340
経常収益計	29,179,616	17,008,092	0	46,187,708	4,503,273		50,690,981
(2) 経常費用							
事業費	34,731,630	18,805,762	162,874	53,700,266	0		53,700,266
給料手当	8,015,337	500,959	0	8,516,296	0		8,516,296
法定福利費	1,496,890	93,555	0	1,590,445	0		1,590,445
賞与	977,258	83,623	0	1,060,881	0		1,060,881
賞与引当金繰入	524,200	6,240	0	530,440	0		530,440
退職給付費用	697,915	8,309	0	706,224	0		706,224
福利厚生費	44,457	2,779	0	47,236	0		47,236
事務所費	3,144,609	262,051	0	3,406,660	0		3,406,660
印刷費	8,983,616	59,778	0	9,043,394	0		9,043,394
通信運搬費	2,845,493	16,419	81,863	2,943,775	0		2,943,775
旅費交通費	509,725	185,516	1,520	696,761	0		696,761
会議費	258,346	27,585	36,210	322,141	0		322,141
広告宣伝費	510,000	6,962,652	0	7,472,652	0		7,472,652
褒章費	3,269,433	0	0	3,269,433	0		3,269,433
支払補助金	1,900,000	4,117,080	0	6,017,080	0		6,017,080
贈呈図書費	0	6,347,670	0	6,347,670	0		6,347,670
支払原稿料	276,951	0	0	276,951	0		276,951
諸謝金	110,000	100,000	0	210,000	0		210,000
支払手数料	13,776	11,945	10,800	36,521	0		36,521
消耗品費	260,724	0	32,481	293,205	0		293,205
リース料	297,360	0	0	297,360	0		297,360
サーバー使用料	305,341	0	0	305,341	0		305,341
新聞購読料	171,324	0	0	171,324	0		171,324
書籍購入費	13,972	0	0	13,972	0		13,972
講演・研修会参加費	39,000	0	0	39,000	0		39,000
雑費	65,903	19,601	0	85,504	0		85,504

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1事業	公2事業	共通	小 計			
管理費	0	0	0	0	4,269,759		4,269,759
給料手当	0	0	0	0	1,502,876		1,502,876
法定福利費	0	0	0	0	280,667		280,667
賞与	0	0	0	0	187,214		187,214
賞与引当金繰入	0	0	0	0	93,607		93,607
退職給付費用	0	0	0	0	124,628		124,628
福利厚生費	0	0	0	0	8,336		8,336
事務所費	0	0	0	0	1,834,355		1,834,355
支払手数料	0	0	0	0	20,088		20,088
会議費	0	0	0	0	217,988		217,988
経常費用計	34,731,630	18,805,762	162,874	53,700,266	4,269,759		57,970,025
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,552,014	△ 1,797,670	△ 162,874	△ 7,512,558	233,514		△ 7,279,044
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 5,552,014	△ 1,797,670	△ 162,874	△ 7,512,558	233,514		△ 7,279,044
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0		0
他会計振替額	△ 1,000,000	1,000,000	0	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,552,014	△ 797,670	△ 162,874	△ 7,512,558	233,514		△ 7,279,044
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0		0
法人税等調整額	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 6,552,014	△ 797,670	△ 162,874	△ 7,512,558	233,514		△ 7,279,044
一般正味財産期首残高	72,141,589	△ 191,689	△ 25,179	71,924,721	△ 731,358		71,193,363
一般正味財産期末残高	65,589,575	△ 989,359	△ 188,053	64,412,163	△ 497,844		63,914,319
II 指定正味財産増減の部							
受取助成金	0	5,000,000	0	5,000,000	0		5,000,000
受取寄附金	0	28,844,751	0	28,844,751	0		28,844,751
一般正味財産への振替額	0	△ 17,002,169	0	△ 17,002,169	0		△ 17,002,169
当期指定正味財産増減額	0	16,842,582	0	16,842,582	0		16,842,582
指定正味財産期首残高	0	44,335,424	0	44,335,424	0		44,335,424
指定正味財産期末残高	0	61,178,006	0	61,178,006	0		61,178,006
III 正味財産期末残高	65,589,575	60,188,647	△ 188,053	125,590,169	△ 497,844		125,092,325

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
- (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっている。
- (4) 固定資産の原価償却の方法
 - ア 有形固定資産……定額法によっている。
 - イ 無形固定資産……定額法によっている。
- (5) 引当金の計上基準
 - ア 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
 - イ 賞与引当金
前期の支給実績に基づき、当期の負担相当額を計上している。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	15,000,000	0	15,000,000	0
小 計	15,000,000	0	15,000,000	0
特定資産				
野間読書推進賞基金	41,600,000	0	0	41,600,000
こどもの読書週間60回積立金	1,500,000	500,000	0	2,000,000
読書週間70回記念積立金	2,500,000	1,500,000	0	4,000,000
創立60周年記念積立金	4,500,000	0	0	4,500,000
大震災出版復興基金	44,335,424	33,844,751	17,002,169	61,178,006
小 計	94,435,424	35,844,751	17,002,169	113,278,006
合 計	109,435,424	35,844,751	32,002,169	113,278,006

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
野間読書推進賞基金	41,600,000	(0)	(41,600,000)	—
こどもの読書週間60回積立金	2,000,000	(0)	(2,000,000)	—
読書週間70回記念積立金	4,000,000	(0)	(4,000,000)	—
創立60周年記念積立金	4,500,000	(0)	(4,500,000)	—
大震災出版復興基金	61,178,006	(61,178,006)	(0)	—
小 計	113,278,006	(61,178,006)	(52,100,000)	(0)
合 計	113,278,006	61,178,006	52,100,000	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取助成金振替額	5,000,000
受取寄附金振替額	12,002,169
合 計	17,002,169

5. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 6,537,140
----------	-------------

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	△ 830,852
--------	-----------

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末退職金要支給額を基礎として計算している。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	624,047	624,047	624,047	0	624,047
退職給付引当金	5,706,288	830,852	0	0	6,537,140

財 産 目 録

平成27年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	物量・場所等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金預金	現金(手元保管)	運転資金として	2,343,616
	普通預金		
	文化産業信用組合 本店	運転資金として	1,025,893
	三井住友銀行 飯田橋支店	運転資金として	450,770
	三井住友銀行 神田支店	運転資金として	86,687
	みずほ銀行 九段支店	運転資金として	104,811
	みずほ銀行 神田支店	運転資金として	400,241
	三菱東京UFJ銀行 神保町	運転資金として	29,506
	三菱東京UFJ銀行 神楽坂支店	運転資金として	1,189,997
	東京都民銀行 神田支店	運転資金として	338,753
	郵便振替口座	運転資金として	1,560,209
	ゆうちょ銀行	運転資金として	108,568
	定期預金		
	文化産業信用組合 本店	運転資金として	3,000,000
	住友信託銀行 池袋支店	運転資金として	8,000,000
	未収金	未収会費	38,000
流動資産合計			18,677,051
(固定資産)			
特定資産			
野間読書推進賞基金	定期預金		
	文化産業信用組合 本店	公益目的事業の財源として管理されている預金	10,000,000
	三菱東京UFJ銀行 神楽坂支店	公益目的事業の財源として管理されている預金	11,600,000
	東京都民銀行 神田支店	公益目的事業の財源として管理されている預金	10,000,000
	郵便貯金	公益目的事業の財源として管理されている預金	10,000,000
こどもの読書週間60回積立金	定期預金		
	みずほ銀行 神田支店	公益目的事業の財源として管理されている預金	2,000,000
読書週間70回記念積立金	定期預金		
	東京都民銀行 神田支店	公益目的事業の財源として管理されている預金	4,000,000
創立60周年記念積立金	定期預金		
	三井住友銀行 神田支店	公益目的事業の財源として管理されている預金	4,500,000
大震災出版復興基金	現金(手元保管)	公益目的事業の財源として管理されている預金	220,430
	普通預金		
	三井住友銀行 飯田橋支店	公益目的事業の財源として管理されている預金	9,041,749
	三菱東京UFJ銀行 神楽坂支店	公益目的事業の財源として管理されている預金	12,571,300
	郵便振替口座	公益目的事業の財源として管理されている預金	7,668,104
	文化産業信用組合 本店	公益目的事業の財源として管理されている預金	31,676,423
その他固定資産	差入保証金	事務所入居保証金	356,800
固定資産合計			113,634,806
資産合計			132,311,857
(流動負債)			
預り金	源泉預り等		58,345
賞与引当金	職員に対するもの	職員に対する賞与の支払いに備えたもの	624,047
流動負債合計			682,392
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	6,537,140
固定負債合計			6,537,140
負債合計			7,219,532
正味財産			125,092,325



監 査 報 告 書

公益社団法人 読書推進運動協議会

会 長 小 峰 紀 雄 殿

平成 27 年 4 月 27 日

監 事 西 村 俊 男



監 事 川 畑 慈 範



監 事 設 楽 敬 一



私たちは、公益社団法人読書推進運動協議会の平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の計算書類並びに事業計画に基づく会務について監査を行いました。監査の結果、上記計算書並びに事業計画に基づく会務はいずれも適正妥当であると認めました。

以上のとおり報告いたします。

平成26年度 予算決算対比

(単位：円)

科 目	平成26年度予算					平成26年度決算					
	公益目的事業会計			法人会計	合計	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公1	公2	合計			公1	公2	共通	合計		
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	32,000	0	32,000	8,000	40,000	5,572	0	0	5,572	1,394	6,966
基本財産受取利息	32,000	0	32,000	8,000	40,000	5,572	0	0	5,572	1,394	6,966
特定資産運用益	96,000	0	96,000	24,000	120,000	9,316	5,923	0	15,239	2,329	17,568
特定資産受取利息	96,000	0	96,000	24,000	120,000	9,316	5,923	0	15,239	2,329	17,568
会費収入	25,976,000	0	25,976,000	4,584,000	30,560,000	25,497,450	0	0	25,497,450	4,499,550	29,997,000
正会員(一般会員)受取会費	4,216,000	0	4,216,000	744,000	4,960,000	4,005,200	0	0	4,005,200	706,800	4,712,000
正会員(特別会員)受取会費	21,760,000	0	21,760,000	3,840,000	25,600,000	21,492,250	0	0	21,492,250	3,792,750	25,285,000
受託事業収入	1,460,000	0	1,460,000	0	1,460,000	1,325,968	0	0	1,325,968	0	1,325,968
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	0	700,000	0	700,000	700,000	0	0	700,000	0	700,000
伊藤忠財団文庫助成収入	760,000	0	760,000	0	760,000	625,968	0	0	625,968	0	625,968
受取寄附金	1,000,000	12,000,000	13,000,000	0	13,000,000	1,000,000	12,002,169	0	13,002,169	0	13,002,169
読書週間協力費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	0	1,000,000	0	1,000,000
大震災出版復興基金	0	12,000,000	12,000,000	0	12,000,000	0	12,002,169	0	12,002,169	0	12,002,169
受取助成金	0	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000
教育関連財団助成金	0	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000
雑収益	1,404,000	0	1,404,000	0	1,404,000	1,341,310	0	0	1,341,310	0	1,341,310
受取利息	4,000	0	4,000	0	4,000	5,970	0	0	5,970	0	5,970
雑収益	1,400,000	0	1,400,000	0	1,400,000	1,335,340	0	0	1,335,340	0	1,335,340
経常収益計	29,968,000	17,000,000	46,968,000	4,616,000	51,584,000	29,179,616	17,008,092	0	46,187,708	4,503,273	50,690,981
(2) 経常費用											
事業費	32,837,000	20,494,000	53,331,000		53,331,000	34,731,630	18,805,762	162,874	53,700,266		53,700,266
給料手当	9,408,000	112,000	9,520,000		9,520,000	8,015,337	500,959	0	8,516,296		8,516,296
法定福利費	1,848,000	22,000	1,870,000		1,870,000	1,496,890	93,555	0	1,590,445		1,590,445
賞与	0	0	0		0	977,258	83,623	0	1,060,881		1,060,881
賞与引当金繰入	0	0	0		0	524,200	6,240	0	530,440		530,440
退職給付費用	0	0	0		0	697,915	8,309	0	706,224		706,224
福利厚生費	0	0	0		0	44,457	2,779	0	47,236		47,236
事務所費	3,960,000	60,000	4,020,000		4,020,000	3,144,609	262,051	0	3,406,660		3,406,660
印刷費	5,900,000	1,260,400	7,160,400		7,160,400	8,983,616	59,778	0	9,043,394		9,043,394
通信運搬費	3,200,000	585,000	3,785,000		3,785,000	2,845,493	16,419	81,863	2,943,775		2,943,775
旅費交通費	550,000	1,760,000	2,310,000		2,310,000	509,725	185,516	1,520	696,761		696,761
会議費	200,000	175,000	375,000		375,000	258,346	27,585	36,210	322,141		322,141
広告宣伝費	230,000	2,700,000	2,930,000		2,930,000	510,000	6,962,652	0	7,472,652		7,472,652
褒賞費	3,000,000	1,874,000	4,874,000		4,874,000	3,269,433	0	0	3,269,433		3,269,433
支払補助金	1,900,000	4,000,000	5,900,000		5,900,000	1,900,000	4,117,080	0	6,017,080		6,017,080
贈呈図書費	0	5,520,000	5,520,000		5,520,000	0	6,347,670	0	6,347,670		6,347,670
支払原稿料	1,200,000	0	1,200,000		1,200,000	276,951	0	0	276,951		276,951
諸謝金	160,000	410,000	570,000		570,000	110,000	100,000	0	210,000		210,000
支払手数料	20,000	951,600	971,600		971,600	13,776	11,945	10,800	36,521		36,521
消耗品費	300,000	635,000	935,000		935,000	260,724	0	32,481	293,205		293,205
リース料	300,000	0	300,000		300,000	297,360	0	0	297,360		297,360
サーバー使用料	0	0	0		0	305,341	0	0	305,341		305,341
新聞購読料	170,000	0	170,000		170,000	171,324	0	0	171,324		171,324
書籍購入費	20,000	405,000	425,000		425,000	13,972	0	0	13,972		13,972
講演・研修会参加費	70,000	0	70,000		70,000	39,000	0	0	39,000		39,000
雑費	50,000	24,000	74,000		74,000	65,903	19,601	0	85,504		85,504
租税公課	51,000	0	51,000		51,000	0	0	0	0		0
OA機器関連費	300,000	0	300,000		300,000	0	0	0	0		0
管理費				4,579,000	4,579,000					4,269,759	4,269,759
給料手当				1,680,000	1,680,000					1,502,876	1,502,876
法定福利費				330,000	330,000					280,667	280,667
賞与										187,214	187,214
賞与引当金繰入										93,607	93,607
退職給付費用										124,628	124,628
福利厚生費										8,336	8,336
事務所費				1,980,000	1,980,000					1,834,355	1,834,355
支払手数料										20,088	20,088
会議費				250,000	250,000					217,988	217,988
関連法人会費				210,000	210,000					0	0
租税公課				9,000	9,000					0	0
雑費				120,000	120,000					0	0
経常費用計	32,837,000	20,494,000	53,331,000	4,579,000	57,910,000	34,731,630	18,805,762	162,874	53,700,266	4,269,759	57,970,025
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,869,000	△3,494,000	△6,363,000	37,000	△6,326,000	△5,552,014	△1,797,670	△162,874	△7,512,558	233,514	△7,279,044
当期経常増減額	△2,869,000	△3,494,000	△6,363,000	37,000	△6,326,000	△5,552,014	△1,797,670	△162,874	△7,512,558	233,514	△7,279,044
他会計振替額	0	1,000,000	1,000,000	△1,000,000	0	△1,000,000	1,000,000	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△2,869,000	△2,494,000	△5,363,000	△963,000	△6,326,000	△6,552,014	△797,670	△162,874	△7,512,558	233,514	△7,279,044

平成27年度 事業計画書

自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日

2015年度(平成27年度)の読書推進運動協議会の最大の課題は、近年の「子ども読書年」や「国民読書年」に見られるように、広く国民生活に定着してきた「読書の力」を、さらに広め、深化していくことです。特に、今年度は、2000年「子ども読書年」から15年、2010年「国民読書年」から5年という節目の年にあたります。例年以上に、出版活動が活発になり、読書が広がり深まることを目指して歩みたいと思います。本年もいままで積み重ねてきた読書推進の諸活動を、着実に実施いたします。

もっとも大きな事業は、読書推進運動協議会が主催し、半世紀を超えて続けている秋の「読書週間」と春の「こどもの読書週間」です。この二大行事は、多くの関係団体のご協力をいただき、季節の風物詩となり俳句の季語にもなっています。どちらも週間と謳っていますが、「読書週間」は14日間、「こどもの読書週間」は20日間にわたる行事です。

ふたつの読書週間の標語は、会員社のみなさま、全国の図書館、そしてホームページで一般の方々にも呼びかけて募集しています。特に、取次会社や出版社には事業委員として深く関わっていただき、それぞれの社員の方々からたくさんの応募をいただいています。こうした作業を進めるなかで、認知度を高めていくようにいたします。

秋の「読書週間」は、ポスターのイラストも一般から公募しており、毎年約1000点の作品が寄せられています。2014年度(平成26年度)の「第68回読書週間」では、第48回造本装幀コンクールで「読書推進運動協議会賞」を受賞されたデザイナーに、ポスターデザインをお願いしました。今年度もこの試みを踏襲していきます。

また、「こどもの読書週間」につきましては、昨年につづき、絵本作家・荒井良二さんの絵とグラフィックデザイナー・杉浦康平さんのデザインでポスターを製作しました。いまもとても注目されている荒井さんのパワフルな絵の力をお借りして、今年度もより訴求力の強いものにしていきます。

読書週間の事業の一環として行われ、全国の読書推進運動協議会の推薦をもとに選ばれる「全国優良読書グループ表彰」と、永年にわたって読書の普及に貢献された団体と個人を表彰する「野間読書推進賞」の顕彰事業は、関係団体や各道府県の読書推進運動協議会との緊密な協力関係のもとに推進しています。2014年度(平成26年度)は、視覚障がい者に対する地道な読書支援活動を行ってきたふたつの団体が、野間読書推進賞を受賞しました。今後は、こうした活動がもっとも求められてくると思います。

こうした顕彰を通じて、全国の団体や個人との絆を強くし、関係を深め、さらなる活動に弾みをつけられるよう、内容の質的向上を図ります。「野間読書推進賞」では、贈呈式が「出版界と読書界の交流の場」となるよう、贈呈式へご招待する人数を増やし、受賞したグループと作家の方々、出版社の方々、図書館関係者の方々との交流がより深まるよう、改善しました。パーティー会場に設けた談話スペースは、大変好評で、懇談に花が咲きました。今年度も、よりいっそう

工夫をしていきたいと思えます。

全国の読書推進運動協議会から寄せられた推薦図書をもとに作成する、約26万部の「若い人に贈る読書のすすめ」と、約17万部の「敬老の日読書のすすめ」のリーフレットは、今年度も関係の団体を通じてお配りしていきます。「敬老の日読書のすすめ」は、本のカバー写真を入れることでずっと見やすくなり、入手希望者も大幅に増えました。また、「若い人に贈る読書のすすめ」は、25万8000部を印刷し、過去最高の部数を記録しました。昨今の「ビブリオバトル」などの普及に伴い、「読みたい本」を手軽に探せることが、評価されているようです。学校や図書館からの問い合わせが多いのは、積極的に活用されている表れと思えます。

昨年4月には、「若い人に贈る読書のすすめ」で取り上げた書籍24冊のコーナーを書店店頭で作っていただくとともに、書籍の著者によるトークイベントが開かれるなど、話題になったイベントも実現し、運動に広がりが出てきています。「若い人に贈る読書のすすめ」と「敬老の日読書のすすめ」を、積極的にアピールし、盛り上げていきたいと思えます。

機関紙『読書推進運動』は、今後も読みやすくなるよう、積極的に工夫を加えます。

ホームページはデザインを工夫し、より見やすく、より使いやすいものにしました。「読書週間」「こどもの読書週間」のしおり、ポップなどの素材データの配信もよく知られるようになってきており、年々、問い合わせや活用事例の報告が増えてきています。さらに魅力ある素材の提供に取り組んでいきます。

2013年(平成25年)12月から行っている「大震災出版復興基金」の運営管理は、2014年度(平成26年度)から本格化しました。寄附金控除団体の指定を受けていますので、ホームページなどでも告知を徹底させ、被災地の復興のために、多くの寄附金のご協力をいただけるよう、広く呼び掛けていきます。

出版関連各団体からの拠出金の負担は、今年度も継続します。出版4団体の加盟各社や作家、読者からの寄附や募金、東京国際ブックフェアなどでの各種チャリティ事業からの収益金、関係取引企業や図書館関係の法人や個人からの寄附金を募集し、これらの基金をもとに、被災した読者のための読書環境の復活、読者に本を届ける書店の販売環境の復活、そして読書をとおした日本人の心の復活をはかっていきます。

具体的には、①震災遺児たちへのクリスマス・図書カードプレゼント事業 ②「ガンバレ福島！ 私のおすすめ本 メッセージカードコンテスト」 ③「第2回ガンバレ岩手！ 私のおすすめ本 メッセージカードコンテスト」「第2回ガンバレ宮城！ 私のおすすめ本 メッセージカードコンテスト」 ④被災地イベント誘致補助事業 のほか、⑤再建校図書館支援事業も、今年度から具体化していきます。さらに、震災から5年目の2016年(平成28年)3月11日に向けた、⑥「コミックフェスタ」など被災地へのイベントの企画協力事業などの準備を進めます。

今年度より、事業全体を統括する全体事業委員会をいっそう充実させます。一昨年度までは2月に行われていましたが、昨年度より12月に設定し、事業全般の見直しとともに、新しい事業についても討議し、可能性のあるものは予算措置を講じる体制を整えました。「こどもの読書週間」のポスターを全国の小中学校に配ることの徹底、「若い人に贈る読書のすすめ」や「敬老の日読書のすすめ」で取り上げた書籍24冊のコーナーを書店店頭で作っていただくなど、チャレンジする

べき課題は山積しています。

また、かねてから検討してきました将来に行う周年記念事業についても、より具体的なプランの準備に入ります。「読書週間70回記念事業」(2016年・平成28年)、「こどもの読書週間60回記念事業」(2018年・平成30年)、「読書推進運動協議会創立60周年記念事業」(2019年・平成31年)が視野に入っています。それぞれの事業の計画的予算措置を行いながら、内容を充実させていきます。

近年、「野間読書推進賞」の受賞者候補に、通常の読書活動に不自由を感じていらっしゃる方々へ献身的な支援をされている団体、個人へのご推薦も増えています。今後も、視覚障がい者や聴覚障がい者の方々、また高齢者の方々など、より効果的な読書を求める方々へ向けて、21世紀の生活環境を意識した読書のあり方を研究し、提言していきたいと考えています。

「読書週間」を、アジア、アフリカの国々に広げていくプロジェクトへの協力も求められています。事業を精査しながら、こうした取り組みにも目を配っていきたいと思います。

一方、身近なところで活動されている企業、団体のなかで、会員でないところも見受けられます。ひとつひとつ、地道にお声がけして、新しい会員社を募っていきます。

現在40道府県にそれぞれの読書推進運動協議会があり、読書推進運動協議会のさまざまな事業を行っていくにあたり、連携を強め、多大な協力をいただいています。しかし、読書推進運動協議会のない都府県が、7つあります。改めてこうした都府県に働きかけ、読書の普及という事業の活性化をはかっていきます。

2015年度(平成27年度)事業計画

名 称	期 間	内 容
2015 第69回 読書週間	10月27日) 11月9日 (14日間)	<p><u>キャンペーン事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書推進運動協議会がすすめる14日間にわたる読書普及のための最大のイベント ・標語とイラストを募集、標語選定事業委員会とイラスト選定事業委員会にて決定し、ポスター7万6000枚を製作 ・雑誌広告を作成。雑誌協会を通じ、雑誌出版社に掲載協力を要請 ・道府県読書推進運動協議会、公共図書館、小、中、高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請 ・「文字・活字文化の日(10月27日)」と連携 ・全国優良読書グループ表彰の実施 ・道府県読書推進運動協議会へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載
2015 第57回 こどもの読書週間	4月23日) 5月12日 (20日間)	<p><u>キャンペーン事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春の読書週間」としての位置づけ、20日間を強調 ・標語を募集、12月に決定 ・ポスター6万9500枚を製作 ・道府県読書推進運動協議会、公共図書館、小、中、高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請 ・「子ども読書の日(4月23日)」と連携 ・道府県読書推進運動協議会へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載
第45回 野間読書推進賞	贈呈式は 11月5日	<p><u>顕彰事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書推進運動に功績があった団体および個人を顕彰(2団体2個人が基本) ・贈呈式は「読書週間」期間中に開催

2015 敬老の日 読書のすすめ	敬老の日 を中心に	<ul style="list-style-type: none"> ・中高年層を対象とした選定図書目録のリーフレット16万5000部を製作 ・道府県読書推進運動協議会、公共図書館、書店、会員社などへ送付
2016 若い人に贈る 読書のすすめ	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・新成人、高校、大学の卒業生を対象とした選定図書リーフレット26万1000部を製作 ・道府県読書推進運動協議会、公共図書館、高校や大学の学校図書館、書店、会員社などへ送付
機関紙 『読書推進運動』	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙『読書推進運動』を毎月発行するほか、別冊付録を年2回発行 ・発行部数 約5300部 ・会員社、公共図書館、関係団体などに送付
公式ホームページ	毎月2回 更新	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、学校、書店の展示用に、新規素材のデータ配信を行う
受託、共催、後援、協賛		<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの読書推進会議」の事務局を担当 ・「伊藤忠記念財団」の文庫助成事業の受託 ・文部科学省より「子ども読書の日」のポスター制作を受託 ・関連団体と読書推進事業を後援、協賛、協力
大震災出版復興基金	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「大震災出版対策本部」の事務局に参加 ・「大震災出版復興基金」の管理、運営 ・震災遺児たちへの図書カードプレゼント ・「がんばれ福島！ 私のおすすめ本 メッセージカードコンテスト」などの企画実施

平成27年度 収支予算書

自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月 31日

科 目	平成26年度予算書					平成27年度予算書				
	公益目的事業会計			法人会計	合 計	公益目的事業会計			法人会計	合 計
	公 1	公 2	合 計			公 1	公 2	合 計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用収入	32,000	0	32,000	8,000	40,000	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	32,000	0	32,000	8,000	160,000	0	0	0	0	0
特定資産運用益	96,000	0	96,000	24,000		128,000	0	128,000	32,000	160,000
特定資産受取利息	96,000	0	96,000	24,000		128,000	0	128,000	32,000	160,000
受取会費	25,976,000	0	25,976,000	4,584,000	30,560,000	25,976,000	0	25,976,000	4,584,000	30,560,000
正会員(一般会員)受取会費	4,216,000	0	4,216,000	744,000	4,960,000	4,216,000	0	4,216,000	744,000	4,960,000
正会員(特別会員)受取会費	21,760,000	0	21,760,000	3,840,000	25,600,000	21,760,000	0	21,760,000	3,840,000	25,600,000
受託事業収入	1,460,000	0	1,460,000	0	1,460,000	760,000	0	760,000	0	760,000
子どもの読書推進会議受託収入	700,000	0	700,000	0	700,000	700,000	0	700,000	0	700,000
伊藤忠財団文庫助成収入	760,000	0	760,000	0	760,000	760,000	0	760,000	0	760,000
寄附金収入	1,000,000	12,000,000	13,000,000	0	13,000,000	1,000,000	8,600,000	9,600,000	0	9,600,000
読書週間協力費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000
大震災出版復興基金	0	12,000,000	12,000,000	0	12,000,000	0	8,600,000	8,600,000	0	8,600,000
受取助成金	0	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000
教育関連財団助成金	0	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000
雑収益	1,404,000	0	1,404,000	0	1,404,000	1,416,000	0	1,416,000	4,000	1,420,000
受取利息	4,000	0	4,000	0	4,000	16,000	0	16,000	4,000	20,000
雑収入	1,400,000	0	1,400,000	0	1,400,000	1,400,000	0	1,400,000	0	1,400,000
経常収益計	29,968,000	17,000,000	46,968,000	4,616,000	51,584,000	29,280,000	13,600,000	42,880,000	4,620,000	47,500,000
(2) 経常費用										
事業費	32,837,000	20,494,000	53,331,000		53,331,000	33,810,000	33,666,000	67,476,000		67,476,000
人件費	9,408,000	112,000	9,520,000		9,520,000	10,992,000	687,000	11,679,000		11,679,000
法定福利費	1,848,000	22,000	1,870,000		1,870,000	1,520,000	95,000	1,615,000		1,615,000
事務所費	3,960,000	60,000	4,020,000		4,020,000	2,808,000	234,000	3,042,000		3,042,000
印刷費	5,900,000	1,260,400	7,160,400		7,160,400	7,150,000	70,000	7,220,000		7,220,000
通信運搬費	3,200,000	585,000	3,785,000		3,785,000	2,630,000	110,000	2,740,000		2,740,000
旅費交通費	550,000	1,760,000	2,310,000		2,310,000	690,000	240,000	930,000		930,000
会議費	200,000	175,000	375,000		375,000	220,000	20,000	240,000		240,000
広告宣伝費	230,000	2,700,000	2,930,000		2,930,000	830,000	16,000,000	16,830,000		16,830,000
褒賞費	3,000,000	1,874,000	4,874,000		4,874,000	2,970,000	0	2,970,000		2,970,000
支払補助金	1,900,000	4,000,000	5,900,000		5,900,000	1,900,000	1,000,000	2,900,000		2,900,000
贈呈図書費	0	5,520,000	5,520,000		5,520,000	0	15,000,000	15,000,000		15,000,000
支払原稿料	1,200,000	0	1,200,000		1,200,000	800,000	0	800,000		800,000
諸謝金	160,000	410,000	570,000		570,000	110,000	100,000	210,000		210,000
支払手数料	20,000	951,600	971,600		971,600	20,000	20,000	40,000		40,000
消耗品費	300,000	635,000	935,000		935,000	270,000	50,000	320,000		320,000
リース料	300,000	0	300,000		300,000	300,000	0	300,000		300,000
サーバー使用料(OA機器関連費)	300,000	0	300,000		300,000	310,000	0	310,000		310,000
新聞購読料	170,000	0	170,000		170,000	160,000	0	160,000		160,000
書籍購入費	20,000	405,000	425,000		425,000	10,000	0	10,000		10,000
講演・研修会参加費	70,000	0	70,000		70,000	40,000	0	40,000		40,000
雑費	50,000	24,000	74,000		74,000	80,000	40,000	120,000		120,000
租税公課	51,000	0	51,000		51,000	0	0	0		0
管理費				4,579,000	4,579,000				4,434,000	4,434,000
人件費				1,680,000	1,680,000				2,061,000	2,061,000
法定福利費				330,000	330,000				285,000	285,000
事務所費				1,980,000	1,980,000				1,638,000	1,638,000
会議費				250,000	250,000				230,000	230,000
関連法人会費				210,000	210,000				220,000	220,000
租税公課				9,000	9,000				0	0
雑費				120,000	120,000				0	0
経常費用計	32,837,000	20,494,000	53,331,000	4,579,000	57,910,000	33,810,000	33,666,000	67,476,000	4,434,000	71,910,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,869,000	△3,494,000	△6,363,000	37,000	△6,326,000	△4,530,000	△20,066,000	△24,596,000	186,000	△24,410,000
当期経常増減額	△2,869,000	△3,494,000	△6,363,000	37,000	△6,326,000	△4,530,000	△20,066,000	△24,596,000	186,000	△24,410,000
他会計振替額	0	1,000,000	1,000,000	△1,000,000	0	△1,000,000	1,000,000	0	0	0
当期正味財産増減額	△2,869,000	△2,494,000	△5,363,000	△963,000	△6,326,000	△5,530,000	△19,066,000	△24,596,000	186,000	△24,410,000

公益社団法人 読書推進運動協議会 会員名簿

平成27年 4月 1日現在 (315)

◆特別会員 (114)

一般社団法人 日本書籍出版協会
 同 日本雑誌協会
 同 教科書協会
 同 日本出版取次協会
 公益社団法人 日本図書館協会
 同 全国学校図書館協議会
 日本書店商業組合連合会

 一般財団法人 日本出版クラブ
 一般社団法人 家の光協会
 王子製紙 株式会社
 学校法人 文化学園文化出版局
 金原出版 株式会社
 株式会社 あかね書房
 同 秋田書店
 同 朝倉書店
 同 アサツデー・ケイ
 同 朝日広告社
 同 朝日新聞社
 同 岩崎書店
 同 岩波書店
 同 潮出版社
 同 NHK出版
 同 大阪屋
 同 オーム社
 同 オリコム
 同 オレンジページ
 同 偕成社
 同 学研ホールディングス
 同 KADOKAWA
 同 河出書房新社
 同 廣済堂
 同 廣済堂出版
 同 佼成出版社
 同 講談社
 同 交通新聞社
 同 光文社
 同 小峰書店
 同 ゴルフダイジェスト社
 同 産業経済新聞社
 同 JTBパブリッシング
 同 CCCメディアハウス
 同 実業之日本社
 同 集英社
 同 主婦と生活社
 同 主婦の友社
 同 小学館
 同 祥伝社
 同 少年画報社
 同 新潮社

株式会社 青春出版社
 同 誠文堂新光社
 同 世界文化社
 同 大修館書店
 同 ダイヤモンド社
 同 太洋社
 同 中央経済社
 同 中央公論新社
 同 中央社
 同 中日新聞社
 同 電通
 同 トーハン
 同 東京都民銀行神田支店
 同 東京ニュース通信社
 同 東洋経済新報社
 同 徳間書店
 同 二玄社
 同 西日本新聞社
 同 日教販
 同 日経B P社
 同 日本ヴォーグ社
 同 日本経済新聞出版社
 同 日本実業出版社
 同 博報堂
 同 P H P 研究所
 同 福音館書店
 同 双葉社
 同 文英堂
 同 文藝春秋
 同 ベースボール・マガジン社
 同 ベストセラーズ
 同 ベネッセホールディングス
 同 芳文社
 同 北海道新聞社東京支社
 同 ポプラ社
 同 ほるぷ出版
 同 マガジンハウス
 同 有斐閣
 同 読売新聞社
 同 理論社
 共同印刷 株式会社
 共立出版 株式会社
 協和出版販売 株式会社
 栗田出版販売 株式会社
 国際紙パルプ商事 株式会社
 新生紙パルプ商事 株式会社
 全日本製本工業組合連合会
 第一紙業 株式会社
 大王製紙 株式会社
 大日本印刷 株式会社
 図書印刷 株式会社

凸版印刷 株式会社
 日本紙パルプ商事 株式会社
 日本出版販売 株式会社
 日本製紙 株式会社
 日本図書普及 株式会社
 ぴあ 株式会社
 ひかりのくに 株式会社
 文化産業信用組合
 北越紀州製紙 株式会社
 毎日新聞出版 株式会社
 三菱製紙販売 株式会社
 有限会社 明日香出版社
 同 ベレ出版
 悠々会

◆一般会員 (201)

愛知県書店商業組合
 青森県書店商業組合
 医歯薬出版 株式会社
 一般財団法人 東京大学出版会
 一般社団法人 農山漁村文化協会
 茨城県書店商業組合
 大口製本印刷 株式会社
 大村製本 株式会社
 岡山県書店商業組合
 沖縄県書店商業組合
 海文堂出版 株式会社
 香川県書店商業組合
 学事出版 株式会社
 学校図書 株式会社
 神奈川県書店商業組合
 株式会社 あすなろ書房
 同 医学書院
 同 池田書店
 同 WAVE出版
 同 潮書房光人社
 同 芸艸堂
 同 栄行社
 同 大泉書店
 同 大月書店
 同 音楽之友社
 同 海竜社
 同 化学同人
 同 学芸出版社
 同 学陽書房
 同 風間書房
 同 かんき出版
 同 北大路書房
 同 求龍堂
 同 ぎょうせい
 同 京都新聞社

株式会社 銀行研修社
 同 金星堂
 同 近代映画社
 同 近代セールス社
 同 金の星社
 同 金羊社
 同 くもん出版
 同 経済界
 同 勁草書房
 同 研究社
 同 恒星社厚生閣
 同 講談社エディトリアル
 同 講談社コミッククリエイト
 同 講談社ビーシー
 同 弘文社
 同 弘文堂
 同 国土社
 同 国宝社
 同 こぐま社
 同 コロナ社
 同 財界研究所
 同 さ・え・ら書房
 同 酒井書店・育英堂
 同 三修社
 同 三省堂
 同 サンマーク出版
 同 実務教育出版
 同 清水書院
 同 春陽堂書店
 同 裳華房
 同 彰国社
 同 晶文社
 同 昭文社
 同 照林社
 同 女性モード社
 同 新興出版社啓林館
 同 新星出版社
 同 人文書院
 同 星雲社
 同 精興社
 同 成文堂
 同 世界思想社教学社
 同 そうえん社
 同 創元社
 同 増進堂受験研究社
 同 第一学習社
 同 第一通信社
 同 第三文明社
 同 大進堂
 同 高橋書店（出版）
 同 竹尾
 同 淡交社
 同 筑摩書房
 同 竹林館
 同 地人書館
 同 チャイルド本社

株式会社 中国新聞社東京支社
 同 汐文社
 同 電気書院
 同 東京創元社
 同 東京即売
 同 東京堂出版
 同 とうこう・あい
 同 童心社
 同 東洋館出版社
 同 読書人
 同 永井書店
 同 永岡書店
 同 ナツメ社
 同 南江堂
 同 南山堂
 同 新潟日報社
 同 西村書店（出版）
 同 西村書店（取次）
 同 二宮書店
 同 日本カメラ社
 同 日本ジャーナル出版
 同 日本スポーツ企画出版社
 同 日本能率協会マネジメントセンター
 同 日本文芸社
 同 白水社
 同 博文館新社
 同 博友社
 同 美術出版社
 同 評論社
 同 フォーネット社
 同 婦人之友社
 同 扶桑社
 同 ブティック社
 同 フレーベル館
 同 プレジデント社
 同 ぶんか社
 同 文溪堂
 同 文真堂
 同 文理
 同 平凡社
 同 法学書院
 同 報知新聞社
 同 法律文化社
 同 マキノ出版
 同 みすず書房
 同 三井住友銀行神田支店
 同 緑書房
 同 ミネルヴァ書房
 同 モーターマガジン社
 同 山川出版社
 同 養賢堂
 同 養徳社
 同 吉川弘文館
 同 リイド社
 同 ロングセラーズ
 同 若林製本工場

株式会社 ワニマガジン社
 岐阜県書店商業組合
 教育出版 株式会社
 共同製本 株式会社
 京都府書店商業組合
 京橋紙業 株式会社
 熊本県書店商業組合
 黒柳製本 株式会社
 慶應義塾大学出版会 株式会社
 慶昌堂印刷 株式会社
 小高製本工業 株式会社
 産業図書 株式会社
 三晃印刷 株式会社
 CQ出版 株式会社
 滋賀県書店商業組合
 静岡県書店商業組合
 実教出版 株式会社
 昇龍堂出版 株式会社
 書店新風会
 数研出版 株式会社
 聖パウロ女子修道会
 成美堂出版 株式会社
 誠和製本 株式会社
 第一出版 株式会社
 大日本図書 株式会社
 太陽印刷工業 株式会社
 辰巳出版 株式会社
 玉川大学 出版部
 中央精版印刷 株式会社
 東京書籍 株式会社
 東京都書店商業組合
 東武書籍販売 株式会社
 同文館出版 株式会社
 徳島県書店商業組合
 特定非営利法人 大活字文化普及協会
 栃木県書店商業組合
 鳥取県書店商業組合
 豊国印刷 株式会社
 永井製本 株式会社
 中庄 株式会社
 日本紙通商 株式会社
 日本雑誌販売 株式会社
 BL出版 株式会社
 兵庫県書店商業組合
 福島県書店商業組合
 二葉製本 株式会社
 北越紀州販売 株式会社
 北海道書店商業組合
 牧製本印刷 株式会社
 光村教育図書 株式会社
 光村図書出版 株式会社
 宮城県書店商業組合
 有限会社 至光社
 同 富山房
 （以上）